

公立病院改革プランの概要

平成23年度の市立大曲病院改革プラン評価委員会を開催し、改革プランの点検、評価を行っておりますので、次のとおり、平成22年度の実績を追加し、評価後の改革プランを公表いたします。

評価委員会においては、経営の効率化による黒字化の目標を概ね達成できており、改革プランに実績数値を追加記載することの合意と、当初の改革プランの方向性で継続すべきとの評価をいただきました。

なお、経営効率化に係る計画の数値目標と比較するための「実績欄」及び欄外の「H22達成の可否欄」は、国・県への提出書類にはありませんが、公表のために追記したものであります。

また、現在の改革プランが、23年度を目標年次としており、23年度の実績評価後に終了となるが、25年度までは引き

(H21達成の可否) (H22達成の可否)

団体名	秋田県大仙市						評価委員会 H22.12.3	評価委員会 H24.2.28
プランの名称	市立大曲病院改革プラン							
策定日	平成	21年	3月	23日	(H24.2.28)			
対象期間	平成	21年度	～	平成23年度	～平成25年度			
病院の現状	病院名	市立大曲病院						
	所在地	秋田県大仙市飯田字堰東210番地						
	病床数	120床						
	診療科目	精神科・神経科（内科外来は休診中）						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>当院は、いわゆる精神科単科病院である。 病床数は一般精神科棟70床、認知症治療棟50床の計120床の規模で、外来患者数は、1日当たり50人を超えている。 精神科病院は、その病気の特性から長期入院となるケースが多く、診療報酬においては総合病院に比較し低額となるなど不採算部門にあたるが、開設以来、年間取り扱い患者数が年々増加しており、精神医療の提供を必要としている住民がいるものと推察されるうえ、今後高齢化が進むことにより増加するであろう認知症患者に対する医療の提供など地域の精神保健福祉の充実のための医療</p>							
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>基本的に地方公営企業繰り出し基準に基づき繰り出すこととしている。 また、この基準中、精神病院の運営に要する経費については、患者1人当たり診療単価について、県内の公立病院と当院の単価差分のうち必要最小額を繰り出すことにしている。</p>							
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)		21年度	22年度	23年度 (見込み)	24年度	25年度	
		経常収支比率		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		職員給与費比率		74.1	73.8	71.8	70.0	70.0
		病床利用率		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
		医業収支比率		78.0	78.4	80.0	80.0	80.0
	実績	経常収支比率		101.7	100.9	101.2		
		職員給与費比率	決算統計数値	59.6	58.6	57.8		
		(病院による積算では)	退職手当等含む	69.0	68.1	69.2		
		病床利用率		93.3	94.4	95.8		
医業収支比率		83.2	83.1	81.3				
上記目標数値設定の考え方	<p>現行の繰り出し金のうち、精神病院の運営に要する経費の繰入金を、可能な限り減少させることを目標としている。 (経常黒字化の目標年度: 年度)</p>							
							達成	達成
							達成	達成
							未達成	未達成
							達成	達成

				団体名 (病院名)	秋田県大仙市 (市立大曲病院)		(H21達成の 可否)	(H22達成の 可否)	
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)			21年度	22年度	23年度 (見込み)	24年度	25年度		
計画時	訪問看護件数	H21年度から	176	300	400	300	400		
	クリニカルパス対象者数	H22年度から	10	15	20	15	20		
	医療相談件数		210	231	245	231	245		
実績	訪問看護件数		123	224				未達成	
	クリニカルパス対象者数	用途別・症例別に	—	149				未達成	
	医療相談件数		249	254				達成	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期								
	民間的経営手法の導入	・委託業務項目の拡大 (機器使用による業務が、委託可能な場合、機器更新費用と委託業務費用とを検討し、委託に移行する。また、類似している業務委託を統合し1業者に委託し実施する) ・委託業者の推進 (平成21年度に委託可能な業務を模索し、平成22年度から可能な業務を委託する)						達成	達成 MRI・CTの 業務委託 の実施
	事業規模・形態の見直し	・来院患者に対する医療サービスの提供と同時に在宅医療や自立の手助けとなる医療サービスの提供の実施と充実(平成21年度から精神科訪問看護・指導を実施)						達成	達成
	経費削減・抑制対策	・光熱水費等の節減強化 (電気料→契約電力の減少、年額約10万円の削減 冷暖房用燃料費→適切な温度管理により使用量を節減、年間54万円の削減) ・院内感染防止対策の強化及び医療安全管理の充実 (感染や事故の発生の際は、想定外の出費となるためその発生を抑え経費増大を防ぐ)						達成	未達成
	収入増加・確保対策	・入院の在院日数の減少 (一定の病床利用率を維持、在院日数を減少させ入院単価が上昇。年間800万円の収益) ・訪問看護・指導の充実 (平成21年度100万円、次年度から170万円の収益) ・診療報酬のゼロ査定減額の実現 (医療費に関する院内検討会を開催)						未達成	未達成 在院日数の 短縮は達成、 訪問看護は 未達成、 訪問看護 査定減は 未達成
その他	・医療相談業務の充実 (平成21年度から充実に向けた体制を構築) ・精神保健指定医の確保 (恒常的な指定医2名以上の体制確保に努める)						未達成	未達成 相談件数は 達成、精神 保健指定医 は未達成 達成	
各年度の収支計画		別紙のとおり							
その他の 特記事項	病床利用率の状況	目標値	21年度	22年度	23年度 (見込み)	24年度	25年度		
	%	95.0	93.3	94.4				未達成	未達成
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	・現在のところ計画なし							

		団体名 (病院名)	大仙市(市立大曲病院)	(H21達成の 可否)	(H22達成の 可否)
再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	<p>当院が所存する大曲仙北圏域にある当院以外の精神病床を有する病院(精神病床)は、次のとおりである。 県立病院精神病床(200床)、仙北市立角館総合病院(100床)、医療法人協和病院(120床)</p>			
	都道府県医療計画等における今後の方向性	<p>地域医療計画での精神病床は、現行の4,350床となっており、当分の病床数で推移するようである。</p>			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<p><時期> 平成25年度末</p>	<p><内容> 現在、市内の総合病院である仙北組合総合病院(精神科なし)に入院中の患者で、精神科領域にかかる症状を呈している患者に対する診療依頼を受け、当院医師が往診という形で診療を実施している。 今後この業務体制をより充実させるなど、他院、他科との連携を推進する。 <i>平成21年度に行った行政の福祉医療担当窓口との福祉医療懇談会のような双方の事情理解のための意見交換や平成22年度の地域の社会福祉施設等訪問による現状把握など、自立のための在宅支援を念頭におきながら、医医(医療機関同士)、医福(医療機関と福祉施設)、医宅(医療機関と在宅)の連携をより密にしていくための活動を平成24年度以降も行っていく。</i></p>		
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	<p>市立大曲病院改革プラン評価委員会要綱に定め点検、評価を行う。 (委員を市長部局・病院・民間の各層から選出し委員会を構成)</p>			
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	<p>年2回(6月、11月)</p>			
その他特記事項					

24~25年度の継続を追加